



皆さんこんにちは、うっとおしい梅雨の季節がやってまいりました。今年も豪雨による災害が起こらないことを祈るばかりです。今後は、雨の降り方に気をつけていきましょう!!

今回は、農水省のHP多面的機能支払メールマガジンの「農村ふるさと保全通信」第112号に当県築上町の**東八田農地・水保全活動組織**の活動が掲載されましたので、ご紹介します。

## 農村ふるさと保全通信112号

### ■ 1. 活動組織の活動紹介(3)～東八田農地・水保全活動組織(福岡県築上町)～ ■

#### ～地区概要～

築上町は福岡県の東部周防灘に面し、北は北九州市、南は大分県中津市との中間位置にあり、山林及び平野部からなっている。気候は比較的温暖で、自然災害の少ない地域。活動範囲は、田 30.36ha、畑 0.02ha、水路 8.7km、農道 3.3km、ため池 2 箇所。

#### ～主な取組～

◎本組織では草刈り作業の省力化の為、大型草刈機を活用しています。実は、活動を開始して4、5年経過後、構成員の高齢化に伴い、草刈り作業の参加者の減少という問題が出てきていました。活動開始初期は1回の作業に平均23人の参加者でしたが、平均15人へと徐々に減ってきていました。ちょうどその頃、認定農業者である構成員のうちの一人が、元土木事業者であったことから重機を所有しており、そのバックホウとトラクターに取り付ける大型の草刈機を導入しました。これを機に、平成29年度から当組織の活動にもその草刈機を活用させて頂くことになりました。

◎水質保全活動の非かんがい期における通水では、非かんがい期にため池の取水栓を抜き、住宅地横を流れる農業用水路にも通水を行うことで地域内の水質改善や悪臭発生防止をしています。水路の脇には彼岸花や花しょうぶの植栽をして景観に配慮し、地域の環境保全に努めています。

◎広報活動として、チラシを作成して回覧を行ったり、コスモスほ場に看板を立てたりしています。地域住民の交流活動として、毎年10月のサツマイモ掘りにはたくさんの地域住民と子供たちが集まり、芋掘りを楽しみ、皆で石焼き芋を食べ賑わっています。

◎今後も、農村の再生を図るため、農家や非農家、団体とのさらなる連携・支え合いにより、活動の効率化を図りつつ、地域資源を守り、大自然の美しさや四季折々の素晴らしい景観を伝承して行きたいと思っております。

【東八田農地・水保全活動組織 代表 曲田 隆紀】



大型草刈機での草刈の様子



コスモスほ場での看板



地域住民との交流(芋掘)

東八田農地・水保全活動組織の優良活動事例です。



農水省のHPへリンクしています。

